

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

精査情報の電子管理

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェント ソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>



「精査情報の電子管理」

- 「精査情報の電子管理」は、小売店向けの精査情報をアプリケーションから閲覧を可能にするシステムです。当システムを使用することで、小売店が毎日行う精査作業におけるレシートの印字と、印字したレシート補充のためのトラック輸送が不要となります。これにより、物の消費量と、物の移動量を削減でき、温暖化対策としてのCO₂排出量も削減することができます。

「環境貢献ソリューション」認定商品を拡大し、SDGsへ貢献します。

- 「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



精査情報の電子管理によるレシート印字削減

システム概要

「精査情報の電子管理」を導入することで、小売店が毎日行っている精査情報の印字作業が不要になります。また、店舗端末に補充していたレシートや小売店で管理するための管理台帳のトラック輸送も不要になります。

従来、小売店はお店の売り上げ情報を精査情報としてレシートへ印字を行い、精査情報の管理台帳を作成していました。そのために、定期的にトラックでレシートや報告書などの紙媒体の輸送を行っていました。

当システムは、端末等で精査情報を参照・管理することができるため、精査情報のレシート印字が不要になり、物の消費量と物の移動量の削減につながります。また、温暖化対策としてのCO₂排出量も削減することができます。

効果

・CO₂排出量の削減効果：約99% ※富士通フロンテック試算

[① 物の消費量の削減]

- ・精査レシート枚数の削減 : 約60万枚削減 (A4サイズ換算)
- ・管理台帳の削減 : 約128万枚削減 (A4サイズ換算)

[② 物の移動量の削減]

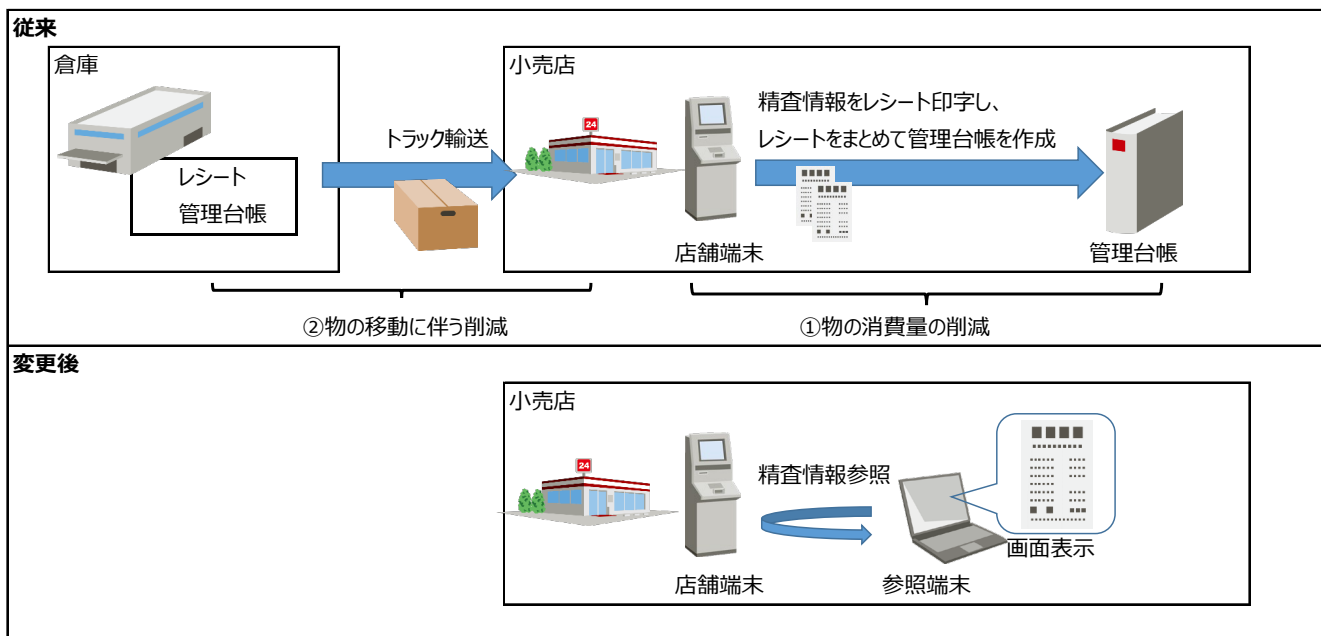
- ・輸送回数削減：32回/月

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより 結果が異なることを予めご承知おきください。

精査情報の電子管理によるレシート印字削減について

従来の運用に比べて以下のように削減が見込めます。

- ① 物の消費量の削減
- ② 物の移動量の削減



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

サービス事業本部 第一サービス事業部 第二サービス部

Webによるお問い合わせ：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>